

地域再生計画

1 地域再生計画の申請主体の名称

墨田区

2 地域計画の名称

江戸と現代と未来を結ぶ空間「すみだ」の構築

3 地域再生の取り組みを進めようとする期間

平成 16 年 10 月から概ね 5 年間

4 地域再生計画の意義及び目標

墨田区内の観光資源は、数の面では豊富であり、規模の大小、魅力の度合いも様々で、ジャンル別にも史跡・寺社・記念館・博物館・相撲関係などバリエーションに富んでいる。しかしそれらは、「資源のままの状態」であるものが少なくなく、「ただ雑然と混在している」といった印象が拭えない。これらの要因としては、史跡などを示す碑や史跡の由来を示す説明・案内板が目立たなかったり、その素になっている人物が、特に若い世代に層に認知されていない状況にある。また、一部の観光資源は、観光の対象として魅力付けがなされていないこともある。

これらの観光資源の課題を解決するための取組としては、他の地域と差別化できる「相撲」、「隅田川の水辺」関係の資源強化はもちろん、地域住民の理解と協力を得て、江戸時代から引き継がれている墨田区ならではの「下町人情」に触れる楽しみを活用したり、前述したようなニュービジネス企業やアーティストが住む先進的・躍進的、そして未来へ目を向けている現代の墨田区をアピールする方策が必要である。

墨田区としては「産業の再生と創造」という括りの中で、都市型観光を中心に商業の活性化を含め、既存の観光資源の発掘や活用とともに、新たな資源の開発など具体的な振興策を作ったうえで速やかに実施に移し、区外から観光客を呼び込み、地域商業の活性化に繋げていく。

この都市型観光実現のための大きなツールとして、墨田区版地域再生計画『江戸と現代と未来を結ぶ空間「すみだ」の構築』を申請する。この計画は、来街者を区内に呼び込み、点ではなく線や面で、つまり回遊性のあるルートを

作り、１分でも長く区内に滞在し、飲食を楽しみ、ものづくりを体験し、かつ区内で製作された「もの」を購入してもらうことで、経済的波及効果を狙うものである。

■ 江戸と現代と未来を結ぶ空間「すみだ」の構築

● 隅田川水辺ライン

墨田区庁舎前の隅田川の水辺付近では、「墨堤さくらまつり」や「隅田川花火大会」など全国的にも有名なイベントをはじめ、平成 15 年 7 月に建立した「勝海舟像」を代表とする歴史的な名所など数多くの観光施設を有している。さらには、隅田川を中心に本区と台東区の両岸に広がる隅田公園は、両岸合わせると 1000 本以上の桜で花見の季節は大勢の人が見物に訪れる。また河畔に整備された公園は、日本庭園の優雅な趣が感じられる。隅田川の墨堤に沿ってゆっくり向島方面に北上すると、歩行者占用の「隅田川上の広場」桜橋が景観豊かに、三つ鳥居で有名な三囲神社(三越の守護社)や虚子の句にも詠われた長命寺の桜餅や言問団子があり、王貞治ダイエーホークス監督が少年時代に過ごした隅田公園少年野球場も隣接している。その他、佐原鞠塙が創設した向島百花園、永井荷風「? 東綺譚」が描かれた玉の井稲荷などがある。

しかし、台東区浅草(東武浅草駅等)に来街する観光客は、浅草寺方面に向かったとしても、イベント開催時以外で台東区から吾妻橋や桜橋を越えて墨田区に来街する人の流れは、少ない。これは、庁舎前から向島までの素晴らしい観光スポットの存在が熟知されていなかったり、吾妻橋上より墨田区庁舎前を臨んだときに、何か呼込むも仕掛けが見えなかったり、人の流れそのものもないためである。

一方、隅田川河川管理者である東京都でも、隅田川等の下町河川を「顔」として活用していくことを戦略のひとつとして掲げていることから、墨田区としても、東京都や民間の団体・組織、地域住民との協働により、隅田川の水辺での賑わい創出、地域住民が河川活用の主役となる仕組みづくりを地域再生により構築していく。

● 隅田川水辺ラインから北斎通りへ

隅田川水辺ラインで、水辺の風情を楽しみ、長命寺の桜餅や言問団子に舌ずつみを楽しんだ来街者をそのまま浅草に返してしまうのではなく、東京都や都水辺公社と連携し、土日に運行している東京水辺ラインをさらに PR して、桜橋発着場から両国発着場へと運ぶルートを最大限活用する。桜橋から水上バスに乗り込み 15 分程度で両国に到着するが、水上バスでのひと時を

楽しみ、両国駅付近の数々の観光スポットやちゃんこ屋での腹ごしらえを堪能する隠れたルートをこの地域再生計画でクローズアップさせる。

このルートの人気が出れば、観光シーズンを中心に水上バスの本数も増えて、経済的な効果が期待できる。

- 両国駅から北斎通りを歩いて錦糸町駅へ

JR 及び都営地下鉄大江戸線両国駅付近は、回向院、旧安田庭園、江戸東京博物館など、墨田区の最大の観光スポットが存在するうえ、相撲部屋やちゃんこ料理店もあり半日単位で観光が楽しめる。

また、錦糸町駅付近は JR 総武線(快速電車も停車)と半蔵門線が交差するターミナル駅であり、通勤・通学客で賑わっているものの、平日はショッピング客、休日はエスニック料理や映画鑑賞さらに場外馬券売り場で楽しむ客が多い。さらには、小沢征爾が関わるトリフォニーホールがあり、1 日楽しめる大規模商業地域である。

一方、墨田区亀沢地区を通る北斎通り(この付近で葛飾北斎が生誕した事から名づけられた)は、墨田区の都市計画マスタープランにおいて広域総合拠点に位置づけられている両国と錦糸町の二大拠点を結ぶ見晴しの良い大通りである。

同地区は、以前から「住宅と産業が共存する洒落た下町」を目指し、地区計画が進められ、歩道や街路樹の整備、電線地中化が行われた。周辺に「北斎館(仮称)」の建設計画もあり、都営地下鉄大江戸線両国駅とも接しているうえ、江戸東京博物館、両国国技館、そして国際ファッションセンターといった拠点施設があり、都市型観光として、統一感あるまちなみづくりや、錦糸町までの回遊性を意識した地域整備の推進がなされたところである。

しかし、北斎通り周辺は、かつて鉄鋼業や繊維業を中心としたものづくりのまちとして栄えたが、社会経済状況の変化等により、ものづくりの象徴であった工場や倉庫が急速にマンションへ建て替わったり、空きスペースも見られる。

このように、都市基盤は整備されたが、通りの活気や賑わいという点では充分でなく、葛飾北斎と関連するような、江戸文化の雰囲気を持った地区資源も必ずしもうまく活用されていない。

そこで、「北斎通りの賑わいづくり」「良好な街並みづくり」を達成するため、地域住民、事業者・商業者、町会、NPO から構成される「北斎通りまちづくり旗揚げ委員会」が発足し、地元住民主導によるまちづくり活動が行

われている。

この地元住民主導の「下町人情」と葛飾北斎ゆかりの通りという観光資源、イベントを開催しやすい広い通りと隣接する公園を有効に活用し、両国駅と錦糸町駅を結ぶ回遊性と江戸情緒豊かな街並みのある通りとして賑わいを創出する。

これらの取り組みにより、隅田川水辺ラインから北斎通りに繋がる回遊性のあるルートを確立し、都市型観光地域として墨田区内の交流人口を拡大させたい。また、この交流人口の拡大を商業その他の産業の活性化に繋げることにより、墨田区の地域特性である「ものづくりのまち、中小企業集積のまち」を活かした区内経済の活性化と、それによる雇用の創出を図ることができる。

5 地域再生計画が地域に及ぼす経済的社会的効果

隅田川水辺ラインから北斎通りへとの観光ルートが確立し、交流人口が増大することにより、地域の賑わいが創出されるとともに、これに伴う消費活動による経済的効果が生まれる。

具体的には、

北斎通りにおいて、のみの市を年6日開催し、延べ人数6万人が集客し、一人あたり1000円の消費があるものとして、約6000万円の1次経済効果が生まれる。

さらに、路上パフォーマンス等を年24日開催し、延べ7万2000人が集客し、一人あたり400円の消費があるものとして、約3000万円の1次経済効果が生まれる。

隅田川水辺ライン(桜橋から両国)が回遊性の向上により、年間40回の運行で2割増しの乗客150名が利用し、一人あたり2000円の消費があるものとして、約1200万円の1次経済効果が生まれる。

その他、来訪者増により、365日、延べ10万人が区内に訪れ、一人あたり1000円の消費があるものとして、約1億円の1次効果が生まれる。

以上の1次経済効果でトータル約2億円となり、最終的な波及効果は(生産・仕入れ等)2億1000万円となる。

6 講じようとする支援措置の番号及び名称

201001 映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化

201002 民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の弾力化

212002 道路占用許可の弾力化(オープンカフェ等)

230001 道路使用許可・道路占用許可の手續改善

7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他関連する事業

「墨堤の桜」創出・保全事業

平成 16 年度より、徳川吉宗が植栽したことから始まる隅田川沿いに咲く墨堤のさくらのリニューアル工事が約 4 年間に亘り実施される。

この 4 年間で計画的に、桜の間引き・植え替え・そして半年程度の期間楽しめる多種の桜を植樹し、長い期間桜を楽しめる公園とする。

その後の管理は NPO で行うことを検討している。

8 その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

なし

別紙

1 支援措置の番号及び名称

201001 映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化

2 当該支援措置を受けようとする者

墨田区文化観光協会(見込み)

住所 墨田区吾妻橋 1-23-20 墨田区役所内

5608-6951 FAX 5608-7130

<http://www.kanko-sumida.com>

会員数 約 530 名

その他、地元商店街、北斎通り近隣関係団体、NPO

3 当該支援措置を受けて実施しまたはその実施を促進しようとする取組の内容

毎週土・日曜日を中心に、毎月数回下記のイベントを実施することを検討している。なお、これらのイベントの実施にあたっては、当該支援措置により発出された通達にもとづき、地域住民・道路利用者等の合意形成の円滑化に努める。

北斎通り(エリア全域を歩行者天国にして想定)

- ・ のみの市(ヨーロッパの観光地を想定)

墨田区は日曜生活用品の生産拠点であり、単なるフリーマーケットでなく、自分で作製した物を持ち込んで自由に販売する。もちろん団体に登録すれば、区内企業に限らない。

- ・ オープンカフェ等の設置

車輦型のオープンカフェを乗り入れ、路上に椅子・パラソル、テーブルを設置する。

- ・ 大道芸や路上パフォーマンス会場の設置

外国人や大学生などを中心に、路上の一角で、自分のアート作品やパフォーマンスを披露する場を設ける。

- ・ 路上ファッションショーの開催

北斎通りは、ファッションストリート構想にも位置づけられていることから、路上ファッションショーを企画し、自由な発表の場を設ける。

別紙

1 支援措置の番号及び名称

201002 民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の弾力化

2 当該支援措置を受けようとする者

墨田区文化観光協会(見込み)

住所 墨田区吾妻橋 1-23-20 墨田区役所内

5608-6951 FAX 5608-7130

<http://www.kanko-sumida.com>

会員数 約 530 名

その他、地元商店街、北斎通り近隣関係団体、NPO

3 当該支援措置を受けて実施しまたはその実施を促進しようとする取組の内容

当該支援措置による通達に基づき、道路使用許可の手続きを行うことにより毎週土・日曜日を中心に、以下のイベントを毎月数回実施することを検討している。

北斎通り(エリア全域を歩行者天国にして想定)

- ・ のみの市(ヨーロッパの観光地を想定)

墨田区は日曜生活用品の生産拠点であり、単なるフリーマーケットでなく、自分で作製した物を持ち込んで自由に販売する。もちろん団体に登録すれば、区内企業に限らない。

- ・ オープンカフェ等の設置

車輦型のオープンカフェを乗り入れ、路上に椅子・パラソル、テーブルを設置する。

- ・ 大道芸や路上パフォーマンス会場の設置

外国人や大学生などを中心に、路上の一角で、自分のアート作品やパフォーマンスを披露する場を設ける

- ・ 路上ファッションショーの開催

北斎通りは、ファッションストリート構想にも位置づけられていることから、路上ファッションショーを企画し、自由な発表の場を設ける。

別紙

1 支援措置の番号及び名称

212002 道路占用許可の弾力化(オープンカフェ等)

2 当該支援措置を受けようとする者

墨田区文化観光協会(見込み)

住所 墨田区吾妻橋 1-23-20 墨田区役所内

5608-6951 FAX 5608-7130

<http://www.kanko-sumida.com>

会員数 約 530 名

その他、地元商店街、北斎通り近隣関係団体、NPO

3 当該支援措置を受けて実施しまたはその実施を促進しようとする取組の内容

当該支援措置による通達にかかるガイドラインの内容を活用して、毎週土・日曜日を中心に、下記のイベントを毎月数回実施することを検討している。

北斎通り(エリア全域を歩行者天国にして想定)

- ・ のみの市(ヨーロッパの観光地を想定)

墨田区は日曜生活用品の生産拠点であり、単なるフリーマーケットでなく、自分で作製した物を持ち込んで自由に販売する。もちろん団体に登録すれば、区内企業に限らない。

- ・ オープンカフェ等の設置

車輦型のオープンカフェを乗り入れ、路上に椅子・パラソル、テーブルを設置する。

- ・ 大道芸や路上パフォーマンス会場の設置

外国人や大学生などを中心に、路上の一角で、自分のアート作品やパフォーマンスを披露する場を設ける。

- ・ 路上ファッションショーの開催

北斎通りは、ファッションストリート構想にも位置づけられていることから、路上ファッションショーを企画し、自由な発表の場を設ける。

別紙

- 1 支援措置の番号及び名称
230001 道路使用許可・道路占用許可の手續改善

- 2 当該支援措置を受けようとする者
墨田区文化観光協会(見込み)
住所 墨田区吾妻橋 1-23-20 墨田区役所内
5608-6951 FAX 5608-7130
<http://www.kanko-sumida.com>
会員数 約 530 名

その他、地元商店街、北斎通り近隣関係団体、NPO

- 3 当該支援措置を受けて実施しまたはその実施を促進しようとする取組の内容
当該支援措置による通達に基づき、道路使用許可・道路占用許可の手續きを行うことにより毎週土・日曜日を中心に、以下のイベントを毎月数回実施することを検討している。
北斎通り(エリア全域を歩行者天国にして想定)
 - ・ のみの市(ヨーロッパの観光地を想定)
墨田区は日曜生活用品の生産拠点であり、単なるフリーマーケットでなく、自分で作製した物を持ち込んで自由に販売する。もちろん団体に登録すれば、区内企業に限らない。
 - ・ オープンカフェ等の設置
車輦型のオープンカフェを乗り入れ、路上に椅子・パラソル、テーブルを設置する。
 - ・ 大道芸や路上パフォーマンス会場の設置
外国人や大学生などを中心に、路上の一角で、自分のアート作品やパフォーマンスを披露する場を設ける。
 - ・ 路上ファッションショーの開催
北斎通りは、ファッションストリート構想にも位置づけられていることから、路上ファッションショーを企画し、自由な発表の場を設ける。